

25年 7月22日.

日本包装管理士会関西支部

## 関西支部主催「第55回ミニセミナー」の報告

開催日時 : 7月15日(火) 15:30~17:30

開催会場 : ハートンホテル西梅田 ガーデンキッチンB1

- ・「第55回会員無料ミニセミナー」には会場19名、リモート2名 計21名の方に参加いただきました。
- ・日本山村硝子(株)堀様による「もみ殻を用いたガラスびんによるサーキュラーエコミーの達成と今後の展望」。  
年間200万トン排出される米のもみ殻(ガラス成分のシリカ含有)を使用し熱処理にて透明なガラスびんを開発。  
米はお酒に、もみ殻はお酒用のガラスびん容器になることでゴミがでないサーキュラエコノミーを達成。  
また、もみ殻以外に貝殻を原料としたガラスびんの開発やガラスを溶かす際に排出するCO<sub>2</sub>の削減の取り組みなど、ガラスびんを通じたゴミのでない環境対応の取り組みについてご紹介いただきました。
- ・エピファニー・ラボ主宰 末吉様による「脳が喜ぶ、心が笑う~臨床美術の不思議」。「臨床美術」は絵を描き、表現することで五感に働きかけ、右脳を活性化させるアートプログラムメソッド。子供から高齢者まで幅広い対象に向けて実施され、主な活用領域として ①子供の感性教育、②大学などでの福祉教育、③企業の従業員向けメンタル疾患予防やコミュニケーションを目的とした研修、④地方自治体・介護施設などでの認知症予防のための脳の健康づくりや、認知症患者のリハビリなどの事例についてご説明いただきました。
- ・両テーマとも参加者(会場、Web)から活発な質問が飛び交い、セミナーは大いに盛り上がりました。

### ◆日本山村硝子(株)堀講師



### ◆セミナー会場



### ◆エピファニー・ラボ 末吉講師



### ◆交流会会場



### ◆交流会参加の皆様

